



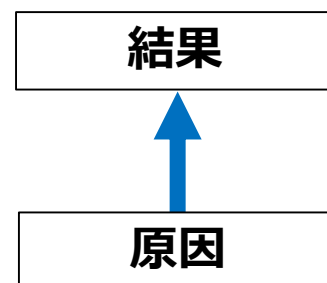
平成30年度 出前講座報告書

NO.4

平成30年9月28日 富士吉田市役所

地域診断の方法－PCM手法－

地域住民のニーズにあった保健事業を立案するために必要となるPCM（Project Cycle Management）手法の基礎的な考え方について学びました。今回は、富士吉田市周辺の市町村に所属する保健師さんも参加していただきました。



▲重要：問題の整理の仕方
(原因と結果の関係)

講義・演習の様子

講義では、プロジェクトとは何か、事業計画を立てるうえで重要である問題の分析について学びました。問題の分析では、原因と結果の関係を整理すること、原因は結合、合流などの視点で考える必要があることを学びました。講義の最後で、PDM（Project Design Matrix）を紹介しました。



▲講義と演習により、楽しく進めることができました。

講師紹介



福島県立医科大学
医学部 健康リスクコミュニケーション学講座
日本学術振興会 特別研究員 小林智之

- ・ 略歴：同志社大学大学院 心理学研究科 博士後期課程修了（心理学博士）。その後、福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座の特別研究員を経て、現在は日本学術振興会の特別研究員。
- ・ 専門領域：社会心理学、社会的認知、集団間関係

グループワークの様子

グループワークでは、富士吉田市の課題でもある子どもの齲歯保有率についての原因を探りました。グループワークで、原因と結果の関係について意見交換しながら、子どもの齲歯保有率を低下させるためにどのような取り組みが必要かについて整理しました。



▲参加された皆さんは、グループワーク積極的に参加されていました。

* アンケート集計結果

参加者は7名、アンケート回収は7名でした。

評価項目	そう思う ¹⁾
研修の資料や進行について	
配布資料は適切だった	100%
時間配分は適切だった	100%
進行は適切だった	100%
講義について	
講義内容が理解できた	100%
講義は今後の保健活動に役立つと思う	100%
学んだことを同僚に伝えたいと思う	86%
話し合いについて	
話し合いは今後の保健活動に役立つと思う	100%
あなたご自身について	
研修を受ける前よりも、保健活動に対する自信が増したと思う	71%
研修を受ける前よりも、健康に関して住民と話し合う自信が増したと思う	43%

* 参加者の声 *

(一部抜粋)

・掘り下げて課題を考えることは時間がかかり大変だがおもしろかった。又、思考としての基本的なポイントを学ぶことができてよかった。

* 復習ポイント *

- ・ 事業計画のポイント(4つ)
- ・ 事業計画を立てるときの注意点

*5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

編集後記

地域診断をもとに地域に根差した事業の展開をするための基本的な知識について学びました。私も母子保健分野で一次資料と二次資料を活用して、地域診断を行い、事業（育児講座）を計画しています。一人の力では限界がありますので多くの方々の協力を得て実施しています。（吉田）